	活動内容	構成員の状況				現在の活動上の課題
		人数	年齢層	5年前と比較した構成員の人数	特徴	
栗東市障がい児者父母の会	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会 ・グループホーム、作業所等の見学 ・親子で遊ぶ（日帰りバス旅行、クリスマス会など） ・親の親睦会（新年会、ボランティア活動、おしゃべり会、レクリエーション） 	13人 (※親のみ)	40歳代～80歳代	ほとんど変わらない	子どももレクリエーションなどは一緒に参加している。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規メンバーの加入が少ない。 ・メンバーに世代などの偏りがある。 ・メンバーが仕事・家事などで忙しい。 ・役員のなり手がいない。 ・活動がマンネリ化している。
栗東市身体障害者更生会	<ul style="list-style-type: none"> ・アーチェリー、グランドゴルフ、ボッチャ ・県のスポーツ大会に参加 ・身障福祉大会に参加 ・レクスポ、ボーリング 	80人くらい	30歳代～80歳代	高齢になり、どんどん減った。	80歳代が一番多い。（昔は手帳を取得したら更生会に入会していたため）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規メンバーの加入が少ない。 ・役員のなり手がいない。 ・会員が高齢になり、移動手段がなく集まらない。
栗東市聴覚障害者協会	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀ろうあ協会、各地区の聴障団体と情報交換、共有している。 ・滋賀県内の手話サークル団体と情報交換し、親睦を深めている。 ・栗東市手話奉仕員養成講座（入門）の開催。 ・手話言語条例検討委員会への参加。 ・クリスマス交流会 	16人	30歳代～70歳代	大幅に減っている。（高齢を理由にやめる人がいる）	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳代～50歳代が多い。高齢で亡くなった方も。 ・難聴の方もいるが、ほとんどが手話を使う方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規メンバーの加入が少ない。 ・役員のなり手がいない。 ・栗東市在住の聴覚障がい者の情報確保が難しい。 ・障がい者のニーズに合った活動ができていない。
栗東市視覚障害者福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独するなど、困り事を話し合ったり、親睦を深める行事を行うことで前向きな人生を歩むことを目指している。 ・五行歌、コーラス ・歩行訓練 	14人	60歳代～90歳代	やや増えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に高齢化している。 ・先天性の方は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規メンバーの加入が少ない。 ・活動がマンネリ化している。 ・資金が不足している。 ・他の団体と交流する機会は乏しい。
栗東市手をつなぐ育成会	10月12日にヒアリング予定					